

平成17年10月期

第1四半期業績の概況(連結)

平成17年3月18日

上場会社名 日本ケーブル・システム株式会社
(URL <http://www.hi-lex.co.jp>)

(コード番号:7279 大証第二部)

代表者役職・氏名 代表取締役社長 寺 浦 實
問合せ先 責任者役職・氏名 専務取締役 徳 弘 勝 昭

TEL : (0797)85-2500

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 無
たな卸資産のたな卸高は、帳簿たな卸によっております。
税効果会計等一部の会計処理については簡便法を用いております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 無
連結 (新規) 2 社 持分法 (新規) 0 社
(除外) 0 社 (除外) 2 社

2. 平成17年10月第1四半期業績の概況(平成16年11月1日～平成17年1月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売 上 高		営 業 利 益	
	百万円	%	百万円	%
平成17年10月第1四半期	24,748	(0.3)	1,218	(△39.6)
平成16年10月第1四半期	24,672	—	2,016	—
(参考)平成16年10月期	101,065	(6.8)	7,025	(1.6)

- (注) ① 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。
② 平成16年10月第1四半期業績の概況は、昨年第1四半期決算の導入初年度であったため、前年同四半期増減率を記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の当社グループの当期業績は、前第1四半期に比べて主に、米子会社HI-LEX CONTROLS INC.の売上高が大幅に減少しましたが、当第1四半期より新規連結加入となりました中国子会社による売上高への寄与並びに当社をはじめアジア各社の拡販活動の結果、売上高は247億4千8百万円(前年同四半期比0.3%増)を計上することとなりました。営業利益は、日本ケーブル・システム株式会社本体の販売費の増加及び米子会社HI-LEX CONTROLS INC.の収益悪化並びに当社グループ全体におよぶ原材料価格上昇による利益の圧迫等により12億1千8百万円(前年同四半期比39.6%減)となりました。

- (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
該当事項はありません。

[参考]第1四半期個別経営成績等の状況

	売 上 高		営 業 利 益	
	百万円	%	百万円	%
平成17年10月第1四半期	13,174	(4.9)	627	(△20.4)
平成16年10月第1四半期	12,557	—	787	—
(参考)平成16年10月期	53,097		3,387	

- 添付資料 (要約)四半期連結損益計算書
[参考] (要約)四半期個別損益計算書

3. 平成17年10月期の連結業績予想(平成16年11月1日～平成17年10月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当り予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	50,000	3,000	1,800	45 77
通期	100,000	6,400	3,500	90 33

[参考] 平成17年10月期の個別業績予想(平成16年11月1日～平成17年10月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当り予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	27,000	2,200	1,300	32 78
通期	53,000	3,900	2,000	51 12

※ 上記の予想は本資料の作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期の業績経過については、前述「経営成績の進捗状況に関する定性的情報等」に記載のとおりであり、これまでの見通しと比較して損益面で悪化しております。また、当第2四半期以降には原材料価格の上昇等のコストアップ要因が懸念され、引続き厳しい事業環境が予想されるため、前述のとおり修正を行いました。この修正には、本日付(平成17年3月18日)で公表いたしました退職金制度改正による特別損失4億5千万円を織り込んでおりますが、継続的な利益確保に向けた販売活動並びに仕入れ及び生産活動の合理化を進めることにより利益挽回に努めてまいります。

なお、平成17年10月期の配当の予定につきましては、中間配当金は1株につき8円、期末配当金は1株につき8円、年間配当金は1株当たり16円に変更はありません。

なお、平成16年12月15日の決算短信で公表いたしました中間期及び通期の業績予想との差異は次表のとおりです。

(1) 連結(中間期)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	52,000	4,200	2,400
今回修正予想(B)	50,000	3,000	1,800
増減額(B-A)	△ 2,000	△ 1,200	△ 600
増減率(%)	△3.8%	△28.6%	△25.0%

(2) 個別(中間期)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	26,500	2,600	1,600
今回修正予想(B)	27,000	2,200	1,300
増減額(B-A)	500	△ 400	△ 300
増減率(%)	1.9%	△15.4%	△18.8%

(3) 連結(通期)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	103,000	8,000	4,600
今回修正予想(B)	100,000	6,400	3,500
増減額(B-A)	△ 3,000	△ 1,600	△ 1,100
増減率(%)	△2.9%	△20.0%	△23.9%

(4) 個別(通期)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	53,000	5,000	3,100
今回修正予想(B)	53,000	3,900	2,000
増減額(B-A)	0	△ 1,100	△ 1,100
増減率(%)	0.0%	△22.0%	△35.5%

添付資料

(要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

期別 科目	前年同四半期 (平成16年10月期 第1四半期)	当四半期 (平成17年10月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成16年10月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	24,672,310	24,748,741	76,431	0.3%	101,065,692
売上原価	20,056,246	20,586,275	530,029	2.6%	83,342,959
売上総利益	4,616,063	4,162,465	△453,598	△9.8%	17,722,733
販売費及び一般管理費	2,599,399	2,944,415	345,015	13.3%	10,697,347
営業利益	2,016,664	1,218,049	△798,614	△39.6%	7,025,385

[参考]

(要約)四半期個別損益計算書

(単位：千円)

期別 科目	前年同四半期 (平成16年10月期 第1四半期)	当四半期 (平成17年10月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成16年10月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	12,557,940	13,174,011	616,070	4.9%	53,097,596
売上原価	10,660,471	11,247,983	587,512	5.5%	45,233,728
売上総利益	1,897,468	1,926,027	28,558	1.5%	7,863,867
販売費及び一般管理費	1,110,088	1,298,915	188,826	17.0%	4,475,911
営業利益	787,379	627,112	△160,267	△20.4%	3,387,956